



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

5/27(火)

テーマ: 『来たこと総べてこれがいい』

出席21社21名

(美浜17、他会4、非会員0)

講師: 社団法人倫理研究所 副参事 清川 百子 氏



Momoko Kiyokawa

2日間、倫理の神髄を楽しく勉強させてくれた清川先生。

一切の環境を受け入れる

人、物、肉体、環境、すべてが、自分の心の通りに、自分に顕れる(全一統体の原理)。来たことは全部、自分に必要なものだから、「これがいい」と前向きに明るく一切を受け入れる。倫理を勉強する人は、自己反省ができることが大事だ。

清川氏は、お子様の高校中退に悩み、1冊の「新世」に出会い、倫理に入会する。そして、自身も旦那様も大病を経験したが、自分の心の通りに、周りが変わってきたという。清川氏も最初は信じられなかったが、実践を続けてきた。

倫理歴34年の実践体験を、お話ししてくれた。

丸山敏雄先生は、「倫理の普及と実践は車の両輪」とよく言われた。実践ばかりに目が行きがちだが、物事は両輪があって初めて進んでいく。丸山敏雄先生が一番喜んだのは、新しい人が倫理に来てくれた時だった。当時は昼の集いの会場がなかったが、清川氏は自宅を建てかえて会場にし、毎月必ず開催することで、普及と実践を行った。無事、お子様も就職した。

また、倫理では家庭、特に夫婦の愛和が大切だ。丸山先生から直接指導を受けた、故 河西花子先生(市川副参事)が、「犬でも3日経てば恩を感じるのに、あなたは主人と何年も一緒にいながら、本当に感謝したことがありますか?自分と夫、どちらが正しいか迷ったら、まず夫の言うことに従ってください」と言われた例がある。この話を聞いて、清川氏は、ぐちぐち言うのをやめた。

時期が前後するが、平成19年文化講演会開催のため、講話者である那須研究員との事前顔合わせの場があり、その時の懇親会で、ある参加者が、「主人はもう亡くなった。1人っ子の息子が結婚しない。幼稚園の孫のアトピーがひどい。どうすればよいか」と質問をした。これに対して、那須研究員は2つの問いを投げかけた。

- ①いつ主人が帰って来てもいいように、過ごされていますか?
- ②主人が生まれ変わって来たら、もう一度主人と結婚しますか?

清川氏は、ハッとした。私はそう思っていなかった。「もう一度生まれ変わっても、この人と一緒になるんだ。全部そのまま受け入れよう」と誓った。その日の夜から、夫は10年間ずっと苦しんできた症状がよくなった。「主人が10年間よくならなかったのは、私の心の通りだった」とわかった。

清川氏自身、糖尿病になったことがある。中西局長からのアドバイス通り、好きな食べ物を3つ諦め、嫌いな食べ物を3つ食べる、これを徹底して行った結果、1年もかからずに完治した。わがまを改める、やはり私に必要なことだと思った。

心が変われば、現状が変わっていく。相手の良い所を見て、悪い所は気にしないように、ありがとうありがとうと受け入れていけば、夫婦はもちろん子も孫も皆、良くなっていく。

「私は一兆円を持っている」心境と、積善積徳の実践

お金ほど自分の心に敏感に反応する物はない。嫌々出すから、帰って来ない。お金が出るのは、働きに出ることなのだから、「いっぱい働いて帰って来てください」と喜んで出してあげる。清川氏は、レプリカの一兆円札を持ち歩いている。「一兆円持っている心境になれば、少しのことでガタガタしない。お金は心の問題です」。

また、目に見えない積善積徳の実践は、本当に困った時に紙一重で助けてくれる。人は、自分が積んだ徳で生きている人はいない。皆、祖先の積徳のおかげで生きている。清川氏は言う。「この積善積徳こそ、お子さん、お孫さんに残してあげられる大きな財産です。自分なりにできることを喜んでやってください」。

次回 第879回MS! 6/3(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-7777)

テーマ	悔しさをバネに、そして感謝	講師	松戸中央倫理法人会 安蒜俊雄 相談役
-----	---------------	----	--------------------

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく